島根 ‘ふるさとだより‘　　春季号(No. 44)

発行　令和３年４月 30 日
東海島根県人会　事務局

〇はじめに

新型コロナウイルスの感染拡大は一向に収まる様子も無く、新年度に入った今月から再び拡大を続けていますが、皆様にはその後如何お過ごしでしょうか？　おそらく、自粛、我慢を続けられ早期の収束を願っておられることと思います。

昨年のゴールデンウィークには、ふるさと島根から感染の拡大を防ぐため帰省を自粛して欲しいという気持ちを、出雲弁と石見弁を使って広告で呼びかけられ話題になりました。

「早く会いたいけん、今は帰らんでいいけんね。」／「早く会いたいけぇ、今は帰らんでいいけぇね。」　（後に日本新聞協会主催の新聞広告賞はじめ数々の賞を受賞）。まさか、1 年たった今も同じ状況が続くとは多くの皆さんには想像もできなかったのではないかと思います。

県人会の活動も今年は創立 65 周年を迎えますので、記念の総会・懇親会を 8 月 28 日（土）に開催する予定で早々に会場の予約など準備を進めて参りましたが、開催自体を慎重に判断しなければならない状況となりました。5 月中には決定し皆様に報告をしたいと考えております。

そのような中ですが新年度を迎え、島根県なごや情報センターでは松島前所長が島根県庁に異動され、新しく中道所長が着任されました。ご挨拶文をお寄せいただいておりますのでご紹介をいたします。また、県人会では不肖　湯淺が事務所に常駐いたすこととなりました。不慣れですが皆様へよりきめ細かなサービスができるよう努めて参りますのでよろしくお願いいたします。

コロナ禍で皆様に満足いただける県人会の活動ができておりませんが、“ふるさとだより”により季節の報告をいたしますのでよろしくお願いいたします。

〇目次

1. 島根県なごや情報センター所長のご挨拶
　新所長　　中道 弘明　様
　令和元年、2 年度所長　　松島 健一　様
2. 伝言板
3. 編集後記
4. 新聞で見る“島根ふるさとだより”（山陰中央新報社の新聞切り抜き）
5. 添付資料
　(1)シマネスク
　(2)愛知県、名古屋市のパンプレット

○島根県なごや情報センター所長ご挨拶

着任ごあいさつ

島根県なごや情報センター
所長　　中道 弘明

東海島根県人会の皆様、初めまして。

このたびの人事異動で、前任の松島に代わり、島根県なごや情報センター所長を拝命した中道弘明（なかみちひろあき）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

この機会を頂き、簡単に自己紹介をさせていただきます。出身は兵庫県尼崎市ですが、松江市出身の妻との縁もあり、民間企業から島根県職員に転職、島根県に移住し、公私ともに島根県民となりました。

前任地は離島・隠岐諸島で3年間、観光振興に従事しておりました。東海島根県人会では毎年隠岐へご旅行いただいていること（昨年はコロナ禍で残念ながら中止）などをお聞きし、中京圏と隠岐を結ぶご縁を感じたところです。

時間も人の流れも緩やかな離島の隠岐諸島から大都会地、しかも初めての名古屋在住・在勤となり、お会いする人、訪れる場所、口にする名古屋めし、何もかも初めてで、戸惑いと刺激を感じながら4月１日より勤務しております。

依然として収束が見えないコロナ禍の中、何かと制限が多く窮屈な日々が続いております。末筆となりますが、東海島根県人会の皆様にはくれぐれもご自愛くださいますよう、お祈り申し上げますとともに、歴代の所長と相変わりませず、今後ともご指導ご支援を賜りますよう、お願い申し上げ、着任のご挨拶に代えさせていただきます。

……

日本の“ど真ん中”生活を終えて

島根県なごや情報センター
令和元年・2年度所長
松島 健一
（島根県・雲南市（旧吉田村）出身）

東海島根県人会の役員・会員のみなさま。
このたびの人事異動により、日本のど真ん中・名古屋生活を終え、郷里・島根に戻ることになりました。この間、県人会のみなさまには、微力な私を支えていただき、感謝の言葉しかありません。

私にとって、名古屋生活は、毎日がとても刺激的であり、そして、今でも「なごや」という文化がしっかり残されていることがとても魅力でした。

それぞれの地域が、独自の歴史・文化・生活を保持し続けていくことが、とても大切なことであり、それが、我が国の魅力と活力を形成しているのだと実感しました。私たちの故郷・島根も常にそうあってほしいと思います。
また、3月までの私の職場・島根県なごや情報センターにも、大きな特色があります。それは、県の職員と、県人会の役員の方が、毎日、顔を合わせて、一緒に島根県の物産販売や、観光宣伝を行っていることです。このような島根県の県外事務所は、東京にも、大阪にも、広島にもありません。この県人会と県の協働文化が、これからも長く残ってほしいと心から願います。

そして、東海島根県人会のみなさまの活動がある限り、島根と東海の熱いつながりは今後も続いていくと信じます。
まるで、真っ赤なフジドリームエアラインズの飛行機で結ばれているように。

……

＜伝 言 板＞

1. 事務局の勤務体制について

(1)通常

・常勤者　湯淺　月、火、木、金曜日（週 4 日）
　犬飼参与　水曜日（週 1 日）
・勤務時間　10 時～16 時（イベントのある場合は適宜対応）
・業　務　①島根の特産品の販売、観光案内
　②県人会運営の事務作業
　③各イベントの主催、補助

(2)コロナに関する「緊急事態宣言」の発令期間中

・県人会事務局は日々の出勤を停止し特産品の販売は中止します。
・電話は留守電にしますので、緊急の場合は案内に従って、湯淺の個人携帯へ連絡をお願いします。
・なごや情報センターは閉所されず 1～2 名、交替で出勤されますが、物産販売は行いませんので注意願います。

(3)コロナに関する「まんえん防止等重点措置」の適用期間中

・県人会事務局の出勤は　月・水・金曜日　出勤停止日　火・木曜日
・物産販売は県人会事務局の出勤日のみ行います。
・なごや情報センターは閉所されず 1～2 名交替で出勤されます。

今後もコロナの感染拡大の状況によりましては色々な場面が想定されますので、来

所の際にはお手数ですが事前に電話で確認いただけると幸いです。皆様には大変ご迷惑をおかけしますがご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。

2. 令和 3 年島根県松江市大規模火災義援金の募集のお知らせ

皆様ご存じと思いますが、去る 4 月 1 日夕方、松江市島根町加賀地区で発生した火災は折からの強風にあおられて、全焼22棟を含む家屋 32 棟と山林約 2 千平方メートルを焼く大規模な火災となりました。会員の皆様も心を痛められ、心配されていることと思います。犠牲者が一人も出なかったことが不幸中の幸いではありますが、多くの方が被災されており、生活再建にむけて松江市はじめ県をあげて支援が行われております。

あわせて義援金の募集も行われており、島根県なごや情報センター内に募金箱が設置（設置期間：4月12日～5月31日）されました。また、**ゆうちょ銀行（郵便局）**でも下記の通り義援金を受け付けておりますので皆様のご協力をよろしくお願いします。

受付機関	口座記号番号	加入者名（口座名義）	手数料
島根県	00940-1-197527	島根県令和 3 年松江市大規模火災義援金	無料※
島根県共同募金会	00900-0-334832	島根県共同募金会松江市大規模火災義援金	

※ゆうちょ銀行窓口での振込手数料は無料ですが、他行やATM等から振込をされる場合には、振込手数料がかかります 。

3. ホームページをご覧下さい

新年号でもお知らせしましたように、県人会のホームページをオープンしました。皆様に都度お知らせすることができない特産品の販売やイベント、県人会の活動などを掲載しますので是非ご覧下さい。読売新聞の 2 月 9 日の朝刊でホームページオープンの紹介記事を掲載いただきました。

〇ホームページへのアクセス方法

パソコン、スマホの Google や Yahoo の検索画面に

①「**東海島根県人会**」 と入力する。

②表示された画面の “東海島根県人会「公式ホームページ」” の文字をクリック（タップ）するとホームページが表示されます

4. 映画「高津川」の公開について

現在のところ、公開の見通しは立っていないとのことで、今年中の公開を目標に動かれています。公開が決まりましたらホームページに掲載いたします。また、お問い合わせのありました方には直接お知らせいたします。

5. イベント情報

(1)（延期）「第8回日本各地の名産観光巡りフェア」

2021 年4月 24 日（土）～25 日（日）まで、オアシス21銀河の広場にて、開催が予定されておりました「第8回日本各地の名産観光巡りフェア」は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う愛知県へのまん延防止等重点措置の発令を受けて開催を中止し、6 月下旬（調整中）に延期されることになりました。延期の日程等、開催要領が決まりましたらあらためてホームページに掲載致します。

(2)第 71 回全国植樹祭の開催

5 月 30 日(日)、大田市三瓶山北の原で開催される予定で、その準備が進められています。

《編集後記》

“島根ふるさとだより”の春季号は耳慣れない「まん延防止等重点措置」の適用期間での発行となりました。この原稿を書いているさなかに、冒頭に記しました島根への帰省自粛を呼びかける出雲弁、石見弁の今年度バージョンが大型連休を前に地元の新聞広告で大きく報じられました。*「まだ帰らんけん」「落ち着くまで待っとるけんね」*／*「まだ帰らんけぇ」「落ち着くまで待っとるけぇね」*。1 年経ってもこのメッセージが色あせること無く輝きを放っていることに複雑な思いですが、お互いを気遣う温かみのある言葉をかみしめながら、我慢と自粛を続けたいと気持ちをあらたにしたところです。

話は変わりますが、私は 4 月から常駐の事務所勤務となり特産品の販売に携わるようになりました。島根の山の幸、海の幸の食材を生かした特産品の多さに驚くとともに、しっかり勉強しなければとあらためて思った次第です。その特産品のひとつ、江津市の特産品「有機桑茶」が中央新報の記事にも紹介されていましたので、切り抜きを掲載しました。血糖値の上昇を抑える効果があるということで、事務所にも定期的に購入されるお客様がお見えになります。関心のある方は是非お試しください

この時期、コロナの話題は避けて通れませんが、どうしても気持ちが沈みがちになります。自粛の中にも何か小さくても楽しいことを見つけて前向きに日々過ごしたいですね。ワクチン接種が早く行き届き、少しでも安心して過ごせる日々が訪れることを願いつつ、皆様と再会できる日を心待ちにしております。コロナ感染拡大は第4波の到来と共に変異株が猛威を振るっておりますので、どうぞ皆様も気をつけられ元気にお過ごし下さい。

事務局長　　湯淺　勉

東海島根県人会　460－0008　名古屋市中区栄 4－16－36
久屋中日ビル 4 階　島根県なごや情報センター内
TLL　052－262－3003　FAX 052－262－4877

新聞で見る ”島根のふるさとだより”

県人会事務所で販売しています

山陰中央新報　2021年3月10日朝刊

おうちで江津産品

桑抹茶ラテ
簡単でヘルシー「血糖値高い人にも」

江津市桜江町で有機栽培された桑の葉の粉末を混ぜ込んだ「有機桑抹茶」（100㌘入り1620円）と「桑和三盆糖」（同）。二つを混ぜ合わせて作る「桑抹茶ラテ」は、簡単で健康にもいいと評判だ。

考案したのは製造元の桜江町桑茶生産組合（江津市桜江町市山）。カップに粉状になった桑抹茶を小さじ1杯、桑和三盆糖を好みの量入れて少量の熱湯でかき混ぜ、温めた牛乳を注げば完成となる。カルシウムやビタミンB群、食物繊維を補給できる。

桑は糖質の吸収を抑える成分も含んでいる。古野利路副社長は「血糖値の高い人たちにも楽しんでもらえる」と語る。

問い合わせは同組合、電話0855（92）0547。（福新大雄）

有機栽培した桑の葉を混ぜた抹茶と和三盆糖で作った桑抹茶ラテ

山陰中央新報　2021年3月21日朝刊

ディーゼル機関車がけん引する「やまぐち号」を撮影する鉄道ファン＝島根県津和野町後田、津和野駅

ディーゼルのやまぐち号 津和野

”撮り鉄”集まる

ＪＲ山口線の観光列車「ＳＬやまぐち号」が、国鉄時代に全国で活躍したディーゼル機関車によるけん引で、20日から運行を始めた。Ｃ57形とＤ51形（デゴイチ）蒸気機関車が長期間の点検修理中のためで、珍しい国鉄型ディーゼル機関車が客車を引く雄姿を撮影しようと、島根県津和野町内の撮影スポットに鉄道ファンが訪れている。

使われているディーゼル機関車は、かつて山陰と東京を結んだ寝台特急「出雲」（2006年廃止）をけん引した車両で、この日は山口市の新山口駅を出発し、津和野町後田の津和野駅に到着。同駅発の列車は、桜が描かれた春仕様の特製ヘッドマークを掲げ、多くの鉄道ファンに見送られながら、甲高い汽笛を響かせて走りだした。

撮影のため訪れた河内邦彦さん(76)は「ＳＬとは違った面白さがあり、しっかり記録に残したい」と満足そう。神戸市の駒居智之さん(37)は「寝台列車・出雲で活躍する姿を見ていたので懐かしい。来週も撮影に来たい」と話し、シャッターを切った。

ディーゼル機関車によるけん引は、９月20日まで、春・夏休みとゴールデンウイーク期間中の土日祝日を中心に、ＪＲ新山口駅と津和野駅を１日１往復運行する。（石倉俊直）

記事は山陰中央新報社の許可を得て掲載しております

山陰中央新報　2021年3月17日朝刊

コウノトリ 今年も産卵

雲南・西小の人工巣塔

卵を温めているとみられる雌の「ポンスニ」（下）と雄の「げんきくん」＝雲南市大東町仁和寺、西小学校（雲南市教育委員会提供）

雲南市教育委員会が16日、市立西小学校（雲南市大東町仁和寺）の人工巣塔で、国の特別天然記念物のコウノトリが産卵したとみられると発表した。卵の数は不明。ふ化は4月下旬と推定され、ひなが誕生すれば大東町内では5年連続となる。

親鳥は、雄の「げんきくん」と雌の「ポンスニ」。昨年も同校の人工巣塔で巣作りし、4羽が生まれた。今年は2月に入って本格的な巣作りを始め、卵を産む柔らかい布団のような産座に敷く草を運ぶ姿や、巣に座って居心地を確かめる様子が確認されていた。

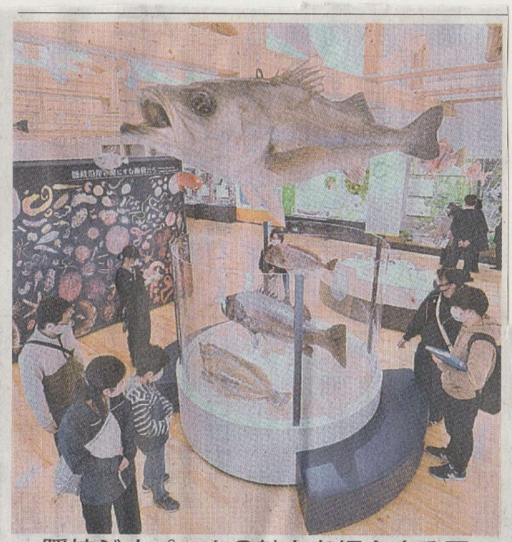
市教委は、親鳥が巣に伏せている時間の割合が50％を超えた3月11日に産卵し、80％を超えた13日に卵を温める抱卵を始めたとみている。産卵日は昨年より4～5日早い。順調に育てば、巣立ちは6月下旬という。

市教委は巣から150㍍以上離れた場所で観察し、学校敷地内に立ち入らないよう呼び掛ける。文化財課の高橋誠二主幹は「今年も卵を産んでくれて安心した」と話した。（清山遼太）

山陰中央新報
2021年3月29日
朝刊

隠岐ジオパークを観光と一体的発信

西郷港に中核・拠点施設



隠岐ジオパークの魅力を紹介する展示物に見入る住民＝島根県隠岐の島町中町、隠岐ジオゲートウェイ

4月1日に島根県隠岐の島町の玄関口・西郷港（隠岐の島町中町）にオープンする隠岐ユネスコ世界ジオパーク中核・拠点施設「隠岐ジオゲートウェイ」で28日、見学会が開かれた。親子110人が、最新のデジタル技術を使ってジオパークの地形や隠岐の珍しい生き物を紹介する展示に目を凝らした。

フェリーターミナルと直結した建物は隠岐産材を使った2階建てで、延べ床面積1406平方㍍。「見て、触れる」を掲げた体験学習型の観光施設として町が整備し、600万年前の火山活動で誕生した隠岐諸島の成り立ちや生態系を、観光情報と一体的に発信する。総事業費は14億2千万円。

見学会では、隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会の職員が、プロジェクションマッピングを活用した島の大型模型図や、オキサンショウウオが生息する森を再現したジオラマについて説明。参加者が日本海の生き物や、ジオパークが育む隠岐の風土に理解を深めた。

見学会に先立つ竣工式では、丸山達也知事らがテープカットして祝い、池田高世偉町長が「自然と人がつくり出す隠岐のドラマ、島の素晴らしさを伝えていきたい」とあいさつした。

開館時間は午前9時～午後5時。料金は大人500円、小中学生250円。毎月第2、4火曜日は休館。（森山郷雄）